

## 『国際安全保障』投稿規定

『国際安全保障』編集委員会

『国際安全保障』は、国際安全保障に関連する分野の学術活動を発展させるための学会誌です。『国際安全保障』に掲載されるのは、論文、研究ノート、書評論文、書評などです。特集関連の論文や書評については編集委員会が執筆を依頼することがありますが、なるべく多くの投稿原稿を掲載する方針ですので、以下の規定に従って積極的に投稿して下さい。

## 1. 原稿の種類、枚数制限などは以下の通りです。

論文、研究ノート、書評論文

20,000字以内厳守(400字換算50枚。図表・注を含む)

\* 学会ホームページに和文・英文のサマリー掲載を希望される方は、和文は400字以内、英文は200語以内の原稿を添付してください。和文のみ、英文のみの掲載も可能です。掲載を希望しない方は提出して頂かなくて結構です。

\* なお、『国際安全保障』の特集は主に依頼論文で構成されますが、特集テーマに関連する論文、研究ノートの投稿も歓迎いたします。投稿される場合は、出版予定の4カ月前までに原稿を提出してください(例:12月の出版予定であれば8月末までに提出)。採否は通常の投稿論文と同様の基準で決定いたします。また、採用されても誌面の制約などで特集号に掲載できない場合もありますので、その点はあらかじめご了承ください。

書評

3,200～4,800字(400字換算8～12枚)

「批評と応答」原稿

2,000字以内(400字換算5枚)

\* 欧米の学術誌にある「Correspondence」です。本誌に掲載された論文、書評などに対する会員からのコメント、また、そのコメントに対する著者からのコメントで構成されます。特に、論文の筆者が見落としている事実関係や史・資料の指摘、ご自身の著書に対する書評へのコメントなどを歓迎いたします。なお、ご自身の著書に対する書評へのコメントの場合に限り、非会員の方からの原稿も受け付けます。

2. 原稿は書き下ろしの完成原稿に限りません。他誌への二重投稿は認められません。また、同一の執筆者が1年以内に2回以上『国際安全保障』に投稿することは原則としてできません。但し、書評、「批評と応答」原稿についてはこの限りではありません。

3. 原稿は横書きとし、作成にはワードプロセッサを使用してください。手書き原稿は受け付けません。なお、マイクロソフト社の「Word」(拡張子は.docまたは.docx)、ジャストシステム社の「一太郎」(拡張子は.jtd)以外のソフトウェアを使用される場合は、事前に編集委員会までお知らせ下さい。

4. 原稿作成にあたっては、『国際安全保障』執筆要領に従って下さい。原稿が執筆要領から著しく逸脱していると編集委員会が判断する場合、審査の対象となりませんのでご注意ください。

5. 投稿者は、以下のものを内外出版(株)内の国際安全保障学会事務局までお送り下さい。提出された原稿は返却いたしませんのでご了承下さい。

A4サイズの用紙にプリントアウトした原稿1部

ホームページへの掲載を希望する場合は、A4サイズの用紙にプリントアウトした和文・英文サマリーの原稿1部(和文のみ、英文のみでもよい)

連絡先など、以下の情報を記載したA4の用紙1枚

論文のタイトル、文字数

投稿年月日

氏名(ふりがな) 所属・職位

住所、電話・FAX番号、電子メール・アドレス(それぞれ1つずつ)

\* 基本的に編集委員会からの連絡は電子メールで行いますが、電子メールの記載がない場合はFAXにて、FAXもない場合は郵便にて連絡いたします。上記の～の電子ファイル(電子メールで送付)。それぞれ、「タイトル(原稿の種類、著者名、投稿年月日)拡張子」のようにファイル名を付けてください。

例: 「先制攻撃」と安定性(論文、田中凜子、2009.7.14).doc

ロシア語文献にみる冷戦原因論(研究ノート、鈴木太郎、2009.2.26).doc

アダムス『21世紀の戦争』(書評、中野眞子、2009.6.22).doc

梅本「オバマ政権の始動」(批評と応答、柴田美智子、2009.8.26).doc

「先制攻撃」と安定性(サマリー、田中凜子、2009.7.14).doc

「先制攻撃」と安定性(著書連絡先、田中凜子、2009.7.14).doc

送付先:

〒152-0004

東京都目黒区鷹番3-6-1

第一ストアビル 内外出版(株)内

国際安全保障学会事務局

jais@naigai-group.co.jp

\* 原稿のみ、あるいは電子ファイルのみの送付は投稿とみなしませんのでご注意ください。

6. 論文、研究ノート、書評論文の採否は、編集委員会ならびに委員会外の匿名の査読者2名の審査をもとに編集委員会が判断いたします。論文審査中、査読者2名に対して原稿は匿名とされますので、内容から筆者が特定できるような記述は避けてください。

書評の採否は編集委員会内の書評小委員会が判断いたします。

「批評と応答」原稿の採否は編集委員会が判断いたします。

原稿を受領した時点で、編集委員会から投稿者に対してその由をお知らせします。さらに原稿の取り扱いが決まった時点で、再び編集委員会から投稿者にご連絡いたします。論文の場合、原稿の受領から採否が決まるまで通常3カ月程度かかります。

なお、投稿は原則として会員の方に限り、「批評と応答」原稿の例外規定については1を参照してください。

7. 著者校正は原則として初校、再校の2回のみとさせていただきます。校正は印刷上の誤り、不備の訂正のみにとどめてください。校正段階において著しい加筆や訂正があったと編集委員会が判断する場合には、掲載を中止することがあります。

8. 『国際安全保障』に掲載された論文等の著作権のうち、複製権、翻訳・翻案権、公衆送信・伝達権を学会長に譲渡していただきます。著作権についての詳細は別途に定める著作権規程に従います。

2009年10月6日 改訂